

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	東京医科歯科大学	整理番号	F - 2
拠点のプログラム名称	脳の機能統合とその失調		
中核となる専攻等名	医歯学総合研究科認知行動医学系専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-)水澤 英洋 外11名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>神経系固有の特徴は、細胞集団が形成する機能単位が幾つも統合されて全く新しい高次の機能が生み出される点にある。この階層システムにより単純な腱反射から心の問題に至る広汎な神経精神機能が発揮される。その失調は非常に多彩かつ難治性の疾患を引き起こしその患者数は極めて多い。本研究教育拠点では、遺伝子から高次機能までを扱う基礎と臨床の研究者がバランスよく揃い実績があるという特徴を活かし、その緊密な協力による研究推進コアユニット、若手研究者育成のインキュベーションラボ、さらに専門技術支援者によるテクニカルインターフェースを構築する。さらに若手の経済的支援体制をも整備することにより、精神・神経疾患の克服をめざし、世界をリードする研究を発展させるとともに、「疾患を理解できる優れた基礎研究者」と「基礎医学の基盤を持つよき臨床医」を育成し、世界的にもユニークな脳の機能統合とその失調の研究教育拠点を形成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>若手研究者の参加によって、教育・研究活動の拡がりが増える。新しい試みとして、「細胞の増殖と変性」「膜機能素子とその失調」「脳機能回路とその失調」と3つのコアリサーチユニットを設け、大学院生の優れたものにこのユニットのどこかに関連した独立のインキュベーションラボを与えて、独自の仕組みを構築するなど、COE形成に向けた努力が評価できる。</p>			